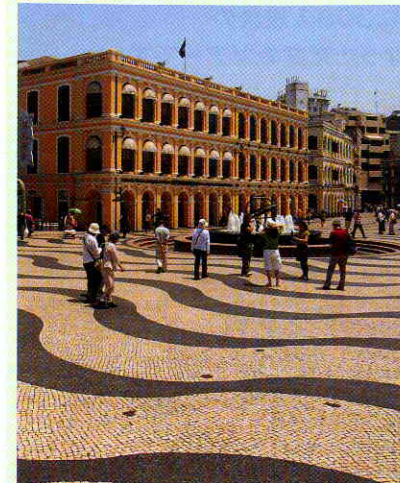


世界遺産の街でマンドリンを奏でよう!!!

『マカオ歴史市街地区』で歴史に浸る

マカオは西洋と東洋が出会った街。
450年以上にわたって東西文化が融合・共存し異文化共存の地として発展してきました。
2005年7月に登録された世界文化遺産『マカオ歴史市街地区』は、22の歴史的建築物と8カ所の広場を含む日常生活地域。生活の中に受け継がれてきた東西融合のマカオ文化。その歴史に思いを馳せながらマンドリンを奏でてみませんか？



セナド広場。夕暮れ時もロマンティック



聖ドミニコ教会



聖ポール天主堂跡 (演奏会場候補)



ラザロ地区。とにかく石畳が美しく楽しい。



マカオの地名発祥の地ともいわれる媽閣廟



今年から公開された鄭家屋敷



演奏前に気軽に足裏マッサージから一流技術を誇るスパやエステでゆっくりリフレッシュ。新しいスパも続々誕生しているマカオ。洗練されたトリートメントでリラックスしてみたいかがでしょう。

たっぷり、ゆっくり、くつろぎのひとつときを

大航海時代のスパイス航路からさまざまな食文化が運ばれたマカオは、気軽にバラエティに富んだ世界各地の料理が楽しめるグルメ・パラダイス。

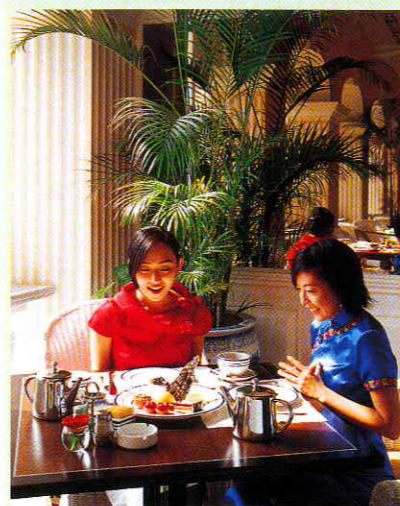


素材の味を活かすポルトガル料理。ボリューム満点の家庭料理的な味わい。ポルトガル産ワインと一緒に

マカオ料理はいわば東西が融合した味覚の世界遺産。大航海時代寄港地のスパイスや料理方法がアレンジされて今に伝わる

気軽に楽しめる飲茶をはじめ本場中国各式料理も味わいたい

エッグタルト/牛乳プリン
街角で歩き疲れたら、食べたいおやつもいっぱい



アフタヌーン・ティーで優雅な一時を過ごす。

お腹を満たした後は、ショッピングや話題のショーを鑑賞したり、マカオタワーのバンジージャンプに挑戦したり、カジノやドッグレースで気軽に運試し…とお楽しみがいっぱいです。



アジア最大級のDFS・ギャラリア



ザイア：マカオだけで観られるオリジナルなショーを鑑賞



地上233mを歩くマカオタワーの「スカイ・ウォークX」

演奏会場は世界遺産地区も候補地として許可申請を調整中です。

ごあいさつ

東洋と西洋の文化の出会い・融合は歴史上極めて大きな出来事です。それはまた、私たち音楽に携わるものにとって永遠のテーマでもあります。マンドリンやギターは西洋由来の楽器ですが、私たち日本人に広く愛好されています。東と西の出会いの地で、改めて歴史に思いを馳せつつその音を響かせたいという思いから、マカオ政府観光局のご協力のもと、ZIPANGU マンドリンオーケストラとして300人規模の大合奏を行なうツアーを企画いたしました。思い出に残る特別な演奏旅行として、また全国のマンドリン弾き・ギター弾きがひとつに集まる機会として、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。世界遺産の街マカオで一緒に演奏しましょう！

300人マンドリン世界遺産ツアー
実行委員長 吉田剛士 (マリオネット)

マリオネット



「マリオネット」はポルトガルギター奏者・湯浅隆 (写真左・マカオ観光局音楽大使) とマンドリン奏者・吉田剛士 (写真右) のデュオ。今年は全国各地で行なう「マカオの夕べ」コンサートで地元のマンドリン団体と共演。その発展形とも言える本ツアー実現に向け、中心となって取り組んでいます。

ツアーはマカオ国際マラソン体験参加の特典付きです(ミニマラソン6.5km、ウォーキングも可)。希望者はハーフマラソン、フルマラソンで実力試しもできます。



フィニッシュ・パーティー会場(右)

マカオ国際マラソン・スタート&ゴール地点(左)

